

町を愛し、町を守りぬく

地域をつなぐ 防災士

町では地域防災力向上を図るため、
防災士の資格取得費用を補助します。



▲防災訓練の様子

防災士って何？

防災士とは、NPO法人日本防災士機構が認証する資格のことと言えます。

資格取得には、防災に対する意識と知識、そして救命救急技術の習得が必要とされ、平常時からこれらの技能を活かした地域での防災活動の担い手として期待されています。

全国では約26万人(※)の方が防災士として活動されています。

※令和5年5月末時点

防災士に 期待される事

- ① 平常時の活動
自分と家族を守るために、防災に関する知識を身につけ、その知識を地域で実施する防災訓練や避難訓練の際に、周りの人に広めていただくことにより、地域防災力が向上し、地域のリーダー役を担うことが期待されます。
- ② 災害時の活動
自分の身を守り、避難誘導、初期消火、救出救助活動を行っていただきます。東日本大震災や熊本地震においても防災士のリーダーシップによって住民の命が助かったり、避難所開設がスムーズに進んだという事例が報告されています。

越生町防災士資格 取得支援補助制度

町では、地域防災力向上を図るため、防災士の資格を取得しようとする方を対象に資格取得の費用を補助する制度をはじめました。

補助金の額

補助金の交付額は、予算の範囲内において、補助対象経費の合計額とします。

※講座の受講に伴う、交通費や宿泊料代は補助の対象になりません。詳しくは図まで。

- 補助対象経費**
- ① 防災士研修講座受講料
 - ② 防災士資格取得試験の受験料
 - ③ 防災士認証登録料

補助対象者

町内在住で、次のすべてにあてはまる方が対象となります。

- ① 日本防災士機構の講座を受講し、防災士の資格を取得しようとする方
- ② 防災士の資格取得後、防災リーダーとして町内の自主防災組織等で活動する意思のある方
- ③ 町内の自主防災組織に属する方または、行政区に加入している世帯の方で、自主防災組織の代表者や区長の推薦を受けた方

図総務課 地域支援・防災安全担当

☎内線215

町長室から

越生町長
新井 康之



越生まつりを盛大に開催

越生の夏を彩る「越生まつり」を7月22日(土)・23(日)の両日4年ぶりに開催しました。

天候にも恵まれしかも令和の大改修を経た絢爛豪華な6台の山車が、創建当時の晴れ姿を披露し、熱気と興奮の渦でわきかえりました。

越生まつりの歴史は古く、江戸時代から続く八坂神社の祇園祭(天王様)が発展したものです。現在は実行委員会が行っています。山車の上で繰り広げられるお囃子は、神田囃子の流れを汲み華やかな江戸の天下祭の名残を今に伝えて、越生の歴史と文化の深さを物語っています。

山車の大改修は、文化庁からの7千万円を超える補助金を活用して行ったものです。全国で2百を超える団体が補助金の申請をしましたが、越生町は11番目に多い金額をいただき、長年の念願を果たすことができました。改修された山車は22日、県道に飾り置きして皆さんに見ていただきました。ご覧になった方はどなたもその見事に感動していました。

23日、夕闇が迫ると6台の山車に提灯の灯がともり、笛や太鼓、鉦とそれに合わせた踊りに熱が入り、曳き手の掛け声とともにゆっくりと集会所の中央公民館を目指して曳かれ、その様はまるで江戸時代にタイムスリップしたかのようでした。

6台の山車が勢ぞろいするとお囃子の競演が始まり、空には色鮮やかで勢いのよい花火が乱舞し、祭りは最高潮に達しました。

久しぶりのお祭りで過去最高の4万人の人であふれ、商店や屋台も長蛇の列ができ、越生町がより元気になりました。そして私は、越生町の底力を感じました。このように盛大に開催できましたのは、実行委員会の皆様、ご協力いただきました皆さまのご尽力の賜物です。心から感謝を申し上げます。



◀山車と花火の共演

黒山三滝で滝打たれ体験実施

7月29日(土)黒山三滝で滝打たれ体験が行われました。主催は観光協会。去年初めて実施し30名募集したところ、人気が高く応募者が多かったため、今年は応募枠を広げました。その結果49名が参加、女性の参加者も16名いました。すばらしい試みで、越生の新しい行事になります。

皆さん白装束で、日常のストレスを解消。また単なる滝打たれではなく、哲学的な瞑想にふけり、滝に打たれて修行している雰囲気の人もありました。

この日は天気も良く暑かったですが、駐車場から歩いて行くとだんだん涼しくなり、特に天狗滝を過ぎると急に涼しさが増しました。黒山三滝は、日本観光地百選瀑布の部で第9位に選ばれ、また埼玉県彩の国クールスポット100選にも選出された名瀑です。まだまだ暑い日が続きます。黒山三滝に行って自然の涼しさを味わって下さい。



▲滝打たれ体験の様子